

多治見市立昭和小学校で河川・防災教育を支援しました



令和5年12月6日(水)、12月11日(月)に多治見市立昭和小学校5年生を対象に、理科の「流れる水のはたらき」を学ぶ授業の支援を行いました。1日目には、土岐川・庄内川の地形・気候の特徴や多治見市等で起こった水害、学校近くの川における洪水に対する様々な河川管理施設等について紹介、2日目には、多治見市の土岐川左岸ポンプ場や防災拠点で現地見学を行い、洪水時の施設機能や川の流れる水のはたらきについての理解をふかめました。



川の特徴や近年の水害、近くにある洪水に対する河川管理施設について紹介(12/6)

12/6の授業を通じて下記のような質問がありました。

- 上流、中流、下流で川の温度は変わるので
すか。
- 上流、中流、下流はどう決めているのですか。
- 木曽川にはテトラポットが置いてありましたが、
土岐川にもありますか。



ポンプ場について多治見市の施設管理者から解説



流入ゲートの見学と解説



中央監視室の見学



ポンプ場の機械の解説



ポンプ場内部の見学



ポンプの起動時の音の大きさを
実際に起動して体験



防災拠点などについてのクイズ

土岐川左岸ポンプ場と防災拠点の現地見学(12/11)



流れる水のはたらきで、川の石がまるくなることを実験



12/11の現地見学を通じて下記のような質問がありました。

- ポンプ場の建設には
いづらかかりましたか。
- ポンプ場の工事には
どのくらいの期間かか
ったのですか。